

# ひだか病院

## 在宅医療連携拠点事業 (御坊保健医療圏)

### 活動目的

地域住民が病気や障害を持たれても住み慣れた場所で生活することを支えるためには医療・介護にまたがる様々な支援が必要となります。

ひだか病院 では、平成26年度より和歌山県の在宅医療連携事業を活用し地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャー、介護ヘルパーなどの多職種協働による在宅支援体制を構築し包括的かつ継続的な在宅医療の提供のための活動を行っています。

### 地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。  
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

